NRU-east
National Railway Workers' Union

ダイジェスト版 2026年
No. 381 10月29日

国鉄労働組合東日本本部
港区新橋5-15-5 交通ビル7F
発行責任者 伊藤 隆夫
編集責任者 武田 幸喜

声かけて
仲間とTUNAG
拡大へ

労働条件改善を求める申し入れ提出

10/29 グループ全体の働きがいの向上を求める

寄せられた主な声

●昇給区分の決め方が不透明。そもそも鉄道に能力給はそぐわない。
●都市手当が無くなり一時金は実質減額。平均支給額増はまやかしだ！
●住んでいる県によってエルダー基本賃金が引き下げは納得いかない！
●出向先の年間休日や労働時間はＪＲ東日本と同じにしてもらいたい。
●グループ会社を含めて教育体制や技術交流の充実が必要ではないか。
●セカンドキャリアスタッフ希望者は全員採用すべきだ。
●沿線でクマの出没があった場合、屋外作業は中止してもらいたい。

改善を求めた主な内容

○能力昇給の「区分」指定は区分6を基準とし、公正・公平に実施すること。
○配偶者手当（20,000円）を新設すること。
○地域額Bの茨城県・栃木県・群馬県・山梨県は30,000円に引き上げること。
○エルダー基本賃金が引き下げとなった栃木・山梨県は経過措置を設けること。
○セカンドキャリアスタッフは、希望者全員を採用すること。
○グループ会社・パートナー会社の年間労働時間・年間休日については、ＪＲ東日本と同等になるようにグループ会社へ働きかけること。
○グループ会社・パートナー会社での福利厚生（利用券支給≒購入券、社宅・寮利用など）の向上を図ること。

グループ全体の労働条件改善をしっかりと求め働き続けられる職場を作っていきましょう！